

令和3年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史 B (ステップアップ)	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	詳説 日本史 改訂版 (山川出版社)						
副教材等	図説 日本史通覧 (帝国書院)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「点」と「点」をつなぎ「線」で歴史を系統的に捉えよう。
- ・歴史的事象を丸暗記するのではなく、「なぜその事象が起きたのか」を考えよう。
- ・今の日本がどのようにして形成されたのかを理解しよう。

2 学習の到達目標

- ・我が国の中世からの歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付ける。
- ・現代の諸課題に着目して考察することによって、歴史的思考力を培う。
- ・国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用 of 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	中世から現代までの日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し、日本社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	中世から現代までの日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	中世から現代までの日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 ポスター	〔主題学習〕 内容のまとめ

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	中世・近世	武家社会の成長 幕藩体制の確立 幕藩体制の展開	○	○ ○	○	○ ○	a: 中世的社会が形成され、矛盾を来たし、崩壊する過程を多角的な観点から理解しようとしている b: 歴史的事象について、経済、文化、国際情勢等と関連付けて、多角的、実証的に考察し、国、階級、思想等様々な立場があることをふまえて公正、実証的に表現している c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている d: 中世的社会が形成され、矛盾を来たし、崩壊する過程と、それぞれの時代の特徴を理解している	ワークシート 定期考査 定期考査
2 学期	近世・近代	幕藩体制の動揺 近代国家の成立	○ ○	○	○	○ ○	a: 幕藩体制の崩壊する過程や近代国家の成立過程を多角的な観点から理解しようとしている b: 歴史的事象について、経済、文化、国際情勢等と関連付けて、多角的、実証的に考察し、国、階級、思想等様々な立場があることをふまえて公正、実証的に表現している c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている d: 幕藩体制の崩壊する過程や近代国家の成立過程と、それぞれの時代の特徴を理解する	レポート(夏期課題) ワークシート 定期考査 定期考査

3 学 期	近 代・ 現 代	二つの世界大戦とアジア 高度成長の時代 激動する世界と日本	○ ○	○ ○	 ○	○ ○ ○	a:現代の日本社会、政治・経済に関心をもち、それらの成立過程とジレンマを多角的な観点から理解しようとしている b:現代日本の成立過程を、経済、文化、国際情勢等と関連付けて、多角的、実証的に考察し、国、階級、思想等様々な立場があることをふまえて公正、実証的に表現している c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている d:現代日本の戦前と変わった点、変わっていない点などをしっかりと理解している	ワークシート 定期考査 レポート
-------------	-------------------	-------------------------------------	------------	--------	-----------	-------------	--	----------------------------

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。